

【令和4年度 入社式挨拶】

新入社員のみなさん、おはようございます。社長の櫻野です。

入社式にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

皆さん、熊谷組への入社、「おめでとうございます。」

皆さんにとって、今日は大変大きな節目の日。昨年、一昨年と新型コロナウイルスの影響で、全員が一堂に会しての入社式ができなかったわけですが、今年は3年ぶりに皆さんにこうやって集まって頂いて開催することができました。大変嬉しく思います。

多くの皆さんとは内定式以来となりますが、その場でも申し上げたように、コロナ禍の中、学業の面においても就職活動の面においても様々な制約があったかと思いますが、困難な環境を乗り越えて数ある企業の中から熊谷組を選択してくれたこと、実に嬉しく思います。そして、皆さんを社員として仲間として迎え入れ、一緒に仕事ができることを大変楽しみにしています。

熊谷組は120年以上の歴史を持つ企業です。1898年の創業以来、「いつか世の中のお為になるような仕事をさせて頂きたい」「難所難物（困難な工事）があれば私にやらせて下さい」という仕事に対する

創業者の想いを大事に引継ぎ、建設事業を通して、広く社会の発展に貢献してきました。長い年月にわたって会社を支えてきたものは、それぞれの時代を生き抜いてきた“熊谷組の社員”であり、その社員の“誠実さ”そして“挑戦心”です。

皆さんは今日から熊谷組の一員となるわけですが、歴史と伝統ある会社、そして建設という事業を通じて社会に貢献している会社に入社したことを大いに誇りに思い、自分の夢を実現するとともに、是非とも熊谷組の良き風土とスピリットを、将来にわたって繋いでいてもらいたいと思います。

熊谷組グループは、「現場力を高め、独自の価値をつくり、時代を超えてお客様と社会を支え続ける」というグループビジョンのもと、「社会から求められる建設サービス業の担い手」として、“持続可能な社会”、“快適に暮らせる社会”そして“経済が成長する社会”の形成に貢献していくことを役割としています。**SDGs**という言葉をご存知だと思いますが、当社グループの事業そのものが、**SDGs**に代表される様々な社会課題の解決に貢献しています。皆さんには、ビジョンの実現、役割の達成に向け、我々と一緒になって取り組んでももらいたいと思います。

ここ数年良好に推移してきた建設市場も、新型コロナウイルスの影響に加え、ウクライナ問題もあいまって、受注競争の激化・原材料価格の高騰など、先行き不透明な状況となってきました。また、建設業界は「担い手不足」という構造的な課題に直面しており、「働き方改革・生産性の向上にむけた取り組み」が喫緊の課題となっています。ウィズコロナ、アフターコロナの時代を見据えつつ、ニューノーマルに柔軟に対応した建設現場・働き方の構築を進めなければなりません。まさに、大変革の時代に技術と柔軟な発想で、時代に即した付加価値を創出していくことが求められています。こういった面においても皆さん若い力に大いに期待しています。

ここまで皆さんに期待するところをいくつか申し上げましたが、最後に心がけを二つ、まず、皆さんには、“常に自己の成長を目指し、チームの力になれる存在感のある社員”に成長してもらいたいと思います。そのためには、周囲との積極的なコミュニケーションを通して、互いに、「伝えあい」「理解しあい」「認めあい」「実践し合う」ことを忘れずに、日々の仕事に取り組んで下さい。

そして次に、良き友を作ってください。仕事の課題解決や悩みをともにし、乗り越えた仲間の絆は大変強くなると言います。同期の仲間を大切にし、お互いに切磋琢磨しながら成長し、それぞれが大いに活躍されんことを期待します。

「自らを高め、未来をつくり、人を支える」

そんな社員に成長されることを祈念し、わたしからの祝辞といたします。

本日はおめでとうございます。

以 上